

7/20
(月)

プレミアム付商品券が発売開始 買ってお得!使って貢献!

新型コロナウイルス感染症に対する経済支援を目的とした、プレミアム付商品券の販売が7月20日から始まり、同日町商工会本所で発売記念式が行われました

式には町商工会や農協、漁協の関係者らが出席。川添町長は「国の特別定額給付金とあわせて商品券を使って、町内の事業者が元気になるように協力いただきたい」と購入を呼び掛けました。

プレミアム率100分の商品券を買い求めようと午前10時の販売前から行列ができ、先頭の尾ノ上麻里さん(伊唐)は「とてもお得なので、早く商品券がほしかった。

食品や洋服を買いたい」と笑顔で話しました。プレミアム付商品券の販売期間は8月31日までで、売り切れ次第終了となります。



初日から好評を得た商品券販売の様子

7/25
(土)

伊唐小で親子釣り大会 親子で一丸、目指せ大物

伊唐小学校(山口陽校長)は7月25日、親子釣り大会を行い、全児童11人と保護者は伊唐島沖で釣果を競い合いながら楽しみました。

参加者らは地元住民の協力で用意された2隻の漁船に分かれて乗船。沖合でさおを並べて当たりを待ちました。児童たちは保護者からさおを上げるタイミングや当たりの見分け方を教わりながらガラカブを次々と釣り上げ、歓声を上げたり、ポーズを取ったりして喜びました。

港に戻ると、参加者全員で釣った魚約400匹の即売会を行い、地元住民が買い求めていました。

1年生の山口愛叶君は「初めて船に乗って、釣りも初めてだった。9匹も釣れて楽しかった」と満足げでした。



ガラカブを釣り上げ大喜び

7/28
(火)

平尾小で御八日踊りの講話 来年こそは舞えるように

平尾小学校(宮ノ前香織校長・68人)で7月28日、毎年8月8日に町内一円でされる御八日踊りの講話がありました。平尾地区では、小学4年生から中学3年生によって「長島種子島踊り」が奉納されますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、中止を決定。同校は踊りを楽しみにしていた4年生から6年生34人を対象に伝承活動の一環として企画しました。

講師として招かれた平尾大字区長の山崎友喜さんは御八日踊りの由来や各地区保存会の踊りなどを説明し「来年はきっと踊れるようになる。コロナに負けずにがん

ばってほしい」と児童にエールを送りました。

6年生の山下梓さんは「毎年踊りを覚えようと必死だったが、今年はなくて寂しい。来年がんばれたら」と話しました。



御八日踊りの歴史を児童たちに伝える山崎さん